



地域医療連携室だより

Vol. 140



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2021年1月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に  が5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

令和3年 新年のご挨拶

わかばやし なおき
市立大津市民病院 院長: 若林 直樹



明けましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

未曾有の広域感染症災害である新型コロナウイルス感染症ですが、新しい年を迎えましても、未だ収束の兆しが見えません。新型コロナウイルス感染症に適切に対応しながら、通常診療もしっかり継続していくことが、“市民の命を守る”、“地域医療を守る”という当院の基本方針を果たすことに繋がります。職員一同一致団結し、当院の使命を一層果たしていきたいと存じます。

昨年12月21日より、皆さまのご理解、ご支援のもと、感染症ERの運用を開始しております。感染症指定医療機関としての使命と二次救急指定病院、地域医療支援病院としての役割をともに果たし、地域の皆さまに安心していただける病院づくりに努めてまいります。

“顔の見える連携”“心が通う連携”を推進し、病院理念である“信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点”の実現はもちろんのこと、“信頼の絆でつながる、地域医療機関とともに歩む健康・医療拠点”でもありたいと願っております。

本年も何卒宜しくご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。



病院理念

信頼の絆でつながる、
市民とともに歩む健康・医療拠点

基本方針

「市民の命を守る病院」

- ・市民に寄り添い、健康をサポートできる病院
- ・24時間365日、常に安心して受診できる病院
- ・広域感染症発生時や大規模災害時などに対応できる病院

「地域医療を守る病院」

- ・患者とともにあり、患者を活し支える病院
- ・質の高い医療を提供し、地域のニーズに応える病院
- ・予防から緩和までがんに強い病院

令和2年8月1日

地方独立行政法人市立大津市民病院

血液内科のご紹介

診療局次長/内科統括診療部長/内科診療部長(血液部門)

なかお みつしげ
中尾 光成



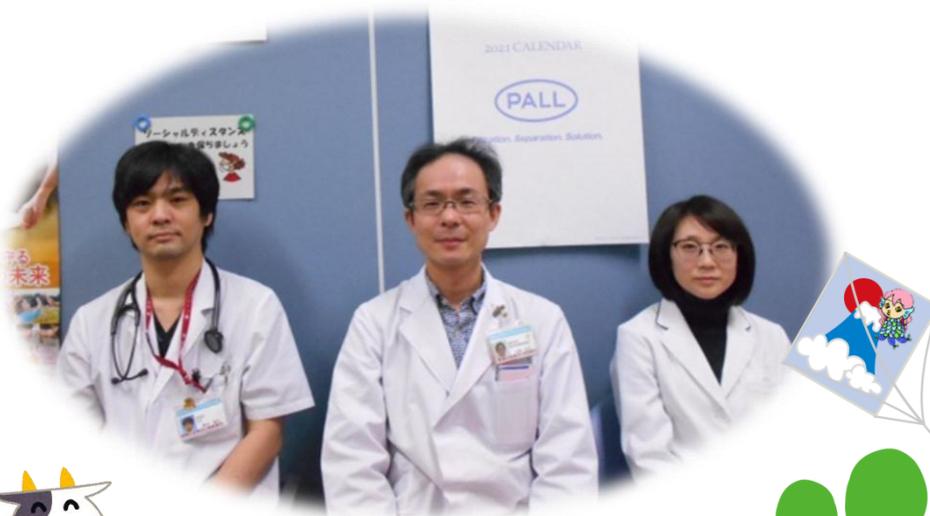
血液内科では急性白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫といった造血器悪性腫瘍の治療を行うことが多いのですが、そのほかにも各種貧血性疾患や血小板減少・増多症など血液疾患全般を取り扱っております。現在、認定血液専門医2名を含む常勤医3名で外来および入院診療を行っており、充実した医療を提供できる体制となっております。

造血器悪性腫瘍に対して当院では基本的にガイドラインに沿った標準的治療をおこないますが、患者様の年齢や全身状態、退院後の生活や治療継続性を考慮した治療の選択を提案しています。また若年者には自家末梢血幹細胞移植を積極的に行っています。同種造血幹細胞移植に関しましては京都府立医科大学およびその関連病院と連携しておこなっています。

造血器悪性腫瘍の治療は日々めざましく進歩しており、分子標的薬や抗体医薬品といった新規作用機序の薬剤が数多く登場しています。それにより治療成績や予後の改善がみられ、従来薬に治療抵抗性となった患者様に対しても有効となっており、当科でも最新の知見を取り入れた治療をいち早く行えるように取り組んでおります。また悪性リンパ腫の診断には組織診断が必須であります。生検が難しいケースも多くみられます。当院では外科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科、泌尿器科、皮膚科、病理診断科等と連携し迅速な対応を頂いており、早期の診断および治療開始につなげております。

入院治療中は常駐の病棟薬剤師、がん化学療法認定看護師をはじめとしたコメディカルの方々に患者様の治療のサポートをしていただいております。また積極的にリハビリテーションを行うことにより体力の低下を防いでいます。看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーを交えたカンファレンスを週1回開催しており、診療科内に留まらずコメディカルとの情報共有を定期的に行うことにより、患者様のニーズに沿った満足度の高い治療を提供するとともに、治療終了からのスムーズな退院支援、外来通院治療へのシームレスな移行を可能にしています。

血液疾患を専門に扱っている医療機関は多くありません。地域の先生方に於かれましては精査や入院依頼等、気楽にご紹介いただければと思います。また専門的治療が終了した患者様については、逆紹介を積極的に行わせていただきますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

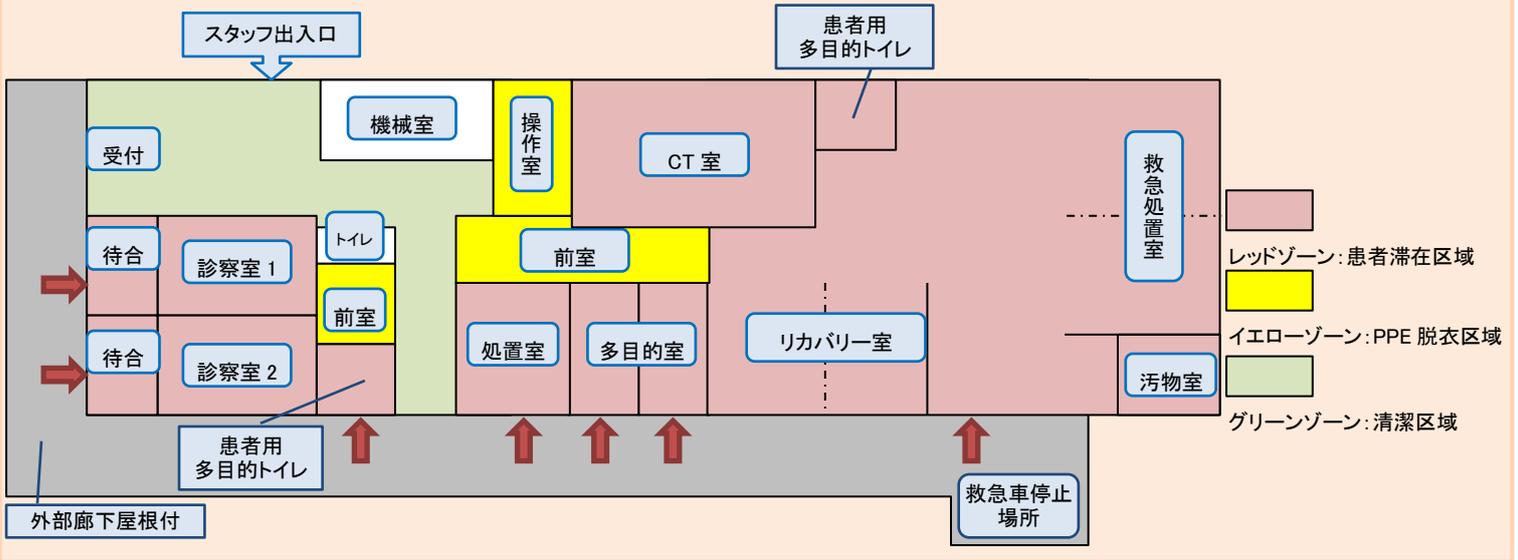


感染症 ER 棟 完成内覧会を開催いたしました

令和2年12月17日(木)16時～16時30分、大津市医師会の先生方を対象に感染症 ER の内覧会を開催いたしました。当日は、早朝から時々雪が舞うとても寒い1日でしたが、大津市医師会から8名の先生方にご参加いただき、(勝手ながらCOVID-19の感染拡大防止の観点から人数制限をさせていただきました。)12月15日(火)に完成したばかりの感染症 ER 棟を、説明を加えながらご覧頂きました。

約30分程度のご案内でしたが、案内後には、発熱患者様の対応に関する意見交換・情報交換も行われ、地域で発熱患者様への対応にご尽力いただいているご様子に、今後も感染症に限らず地域の医療機関の皆様との更なる連携強化を図る必要性について改めて実感いたしました。

■フロアマップ



■施設の特徴

- 患者と医療従事者の導線を完全に分離するため、外部廊下を設置
- レッドゾーンは、病原体が室内に滞留しないように陰圧を確保
- 床面を全て拭けるように壁掛け式のトイレを採用
- 汚染された水が壁や床に飛散しないように、手洗いシンクは水はね防止タイプを採用
- 部屋の隅まで拭けるように、床材を壁まで巻き上げて施工
- コード類が床面に垂れ下がらないように、コンセント位置を通常より高い位置に設置
- 感染エリアと非感染エリアの区別を床面の色で明確化
- 既存 X 線 CT 装置を使用せずに撮影できる、感染症 ER 専用の CT 撮影装置を設置
- 感染症 ER 専用の処方箋窓口を設置



感染症 ER 外観



感染症 ER 受付案内表示



床材の色でゾーニング/巻き上げ施工



床が全て拭けるように壁掛け式を採用



シンクを深くし汚染された水の飛散を防止



救急処置室



感染症 ER 専用の X 線 CT 装置見学風景



診察室見学風景



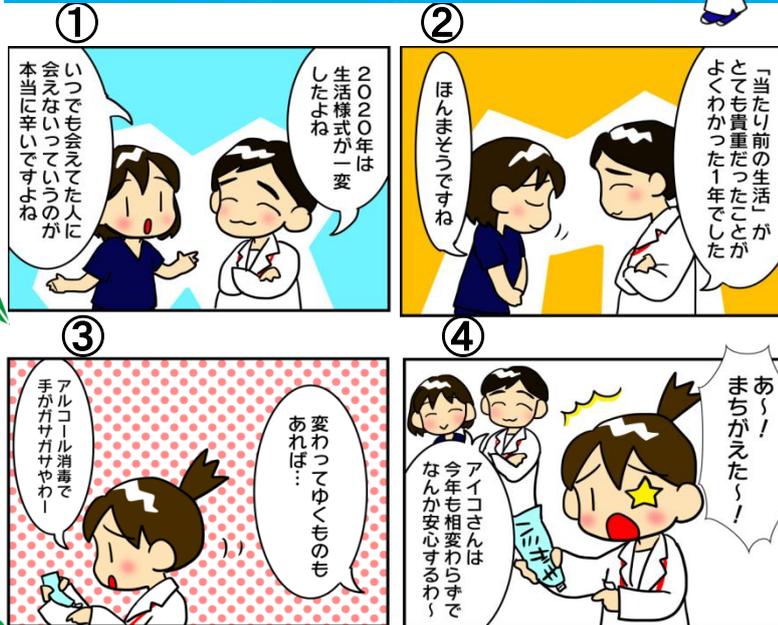
施設説明



質疑応答

2年目研修医 note

- ①名前: ^{きしだ かずひろ}岸田 和大
- ②出身大学・卒業年度:
滋賀医科大学 平成 30 年度
- ③趣味: レスリング 筋トレ
- ④医師を目指した理由:
筋肉や骨に興味があったから
- ⑤どんな医師になりたいですか?:
患者さんの気持ちにより添える医師
- ⑥研修医2年目の目標:
3年目以降すすむ科以外のことも含め幅広く
学びたいです
- ⑦地域の先生方へのメッセージ:
滋賀県の医療に貢献できるよう
がんばります



※マスクは外して描いています。

クイズの答え: 1 ページ目左下/2 ページ目右下/4 ページ目 2年目研修医 note 右下/MSW アイコさんタイトル/右下絵馬

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による診療状況

2021年1月1日(金)時点

診療制限は特に行っておりません。通常診療体制です。

—呼吸器内科からのお知らせ(肺癌検診後のご紹介に関しまして)—

当院は結核病棟を有しない病院です。誠に勝手ながら、肺癌検診後の胸部X線検査の判定がD1(「活動性肺結核」治療を要する結核を疑う)である患者様のご紹介に関しましてはご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

その他判定の患者様につきましては積極的に診察させていただきます。何卒、ご理解・ご協力をお願いいたします。

地域医療連携室/入退院センターより

地域医療連携室/入退院センター: 四方 美幸

あけましておめでとうございます。

入退院センターで退院支援をしております四方です。

当院は急性期病院のため、地域の先生方や各関係機関の皆様のご協力無しには患者様の退院を支援することが出来ません。このコロナ禍で皆様とカンファレンスや会議などでお会いして直接お話する機会は減ってしまいましたが、これまで培われた連携により、この状況下でも今まで通り支援させていただいていることに感謝しております。

急性期病院の入院日数では十分支援しきれずご退院いただく事もあり申し訳ございませんが、皆様のお力をお借りしながら、どんな時でもとにかく笑顔で誠実にをモットーに患者様・ご家族様の支援に邁進してまいります。